

埼接ミニ情報

25年4月号

発行
 (公社) 埼玉県接骨師会
 企画総務部

4月1日から平成25年度がスタートしました。早いもので新体制になって2年、公益社団法人になって1年が経過しました。日整傘下各県の状況は、公益社団法人への移行が31県、一般社団法人への移行が2県(いずれも会員少数県)その他が未定となっています。本県では1年が経過し、認定等委員会に24年度の各種報告と25年度の予算、事業計画を提出したところです。

執行者においては初めての経験でしたが、会計顧問及び事務局の協力を得て、公益社団法人としての一年を終えることができました。

一方、業界を取り巻く環境は厳しくなるばかりです。遅れに遅れた実質マイナスの料金改定、国保にまで波及している「理不尽な患者調査」や健保組合による「一方的不支給」など一向に止まる気配はなく、会員の皆様に不安とご迷惑をおかけしています。

執行者としては、このような状況を食い止める事が出来なかったという「事実」を真摯に受け止め、政治連盟での活動も含め、行政・保険者等と、正論で、交渉・議論できる具体的活動計画の作成と戦略的実行に直ちにかからなければなりません。

「変わらないことは、現状維持ではなく衰退である」との言葉もあります。せっかく公益社団法人という強い土俵にあがれたのです。それを大いに利用し業界の発展と会員の皆さまの診療環境の改善に全力を傾けたいと思います。

【料金改定について】

平成25年4月24日、厚生労働省保険局長から料金の一部改正通知、並びに保険局医療課から運用面に関する各通知が出されました。詳細については、別送される保険部からの資料を必ずご確認ください。また、レセコンを使用している会員については、各会社より変更ソフトが早急に届くことと思います。

第二回専門委員会終了後、あたかも料金をはじめ運用方法も決定されたような報道及び厚生労働省HPへの記載がありました。しかしながら日整役員からは、流動的であるとの話もあり注目していたところです。結果としては、料金改定については、プラスマイナスゼロとなりました。療養費の中で伸び率が柔整療養費の何倍も高い部分も同様にプラスマイナスゼロとなっています。このことについては今後徹底した検証が必要だと思われ、その結果を会員に報告すべきだと考えています。運用面では、第二回専門委員会後、特に話題となった次の2点が注目されます。

①3ヶ月を超えての捻挫・打撲の施術に対して1月の施術回数の頻度が高い場合、症状及び頻度の高い施術が必要な理由を記載すること。

②被保険者等の郵便番号、電話番号の記入を求めること

①の頻度が高いとは「疑義解釈資料」によりますと、平成24年3月に出された「柔道整復師の施術の療養費の適正化への取り組み」に記載されていた「1月当たり10~15回以上である」を想定しているとなっています。よって今後この数字が初検月や3ヶ月以内の施術に対してまでも適用されることが絶対無いよう、業界を挙げて注視する必要があると考えます。また、②については同様の「疑義解釈資料」には、郵便番号・電話番号の記入を求めた結果として、患者の理解が得られず、記入がない場合は、これらの記入が無いまま申請書を提出することでやむを得ない。となっています。また、その記入については、記載することについて、患者の了解を得ているのであれば、印字でも差支えない。となっております。保険部資料の熟読を重ねてお願いいたします。

【選挙管理委員会からのお願い】

前号のミニ情報【役員選挙の留意点】において、『なるべく定数に近い候補者数の選任をお願いいたします。』の記述がありました。これは決して、会員皆様の投票行動に規制を加える趣旨のものではありません。選挙は選挙管理委員会の下で厳正に且つ、会員の自主的な判断によって行なわれなくてはなりません。ご理解の程をお願いいたします。

【本会ホームページについて】

会員増強対策の一つとして、HPの重要性が理事会でも話し合われました。現行HPの解析を行い、より多くの学生を含む一般の方々、会員、そして会員以外の柔整師にも見てもらえる様なHP作りに取り掛かっています。その第一弾としてトップページに最近の公益目的事業活動の写真を載せています。トップページが変わらない方は、F5を押し最新の情報にして御覧下さい。今後もどんどんアップしていく予定です。

【県内柔道整復専門学校との連携強化】

教育機関と業界団体の密接な連携が今後益々必要になるとの考えから、県内に4校ある柔整専門学校との連携の強化に努めています。各校の卒業式に出席し本会会長賞を授与したり、挨拶の中で、柔整師が一つに纏まる必要性を話しています。また、5月26日の埼接柔道大会では、初めて、男子は専門学校団体対抗戦、女子は個人戦を実施し、互いの理解を深めていく予定です。さらには今後の計画として、日整とは別に、埼接独自のより効果的な「社団説明会」を各校で開催し、本会各種行事への参加呼びかけと公益社団法人への理解を促進させることにより、将来的な会員増強を実現したいと考えています。

【第一回調査研究事業開催される】

本会学術部主管による「埼接調査研究事業」の第一回会議が、平成25年3月16日本会二階会議室にて開催されました。今回は、大先輩の先生方4名にお越しいただき、様々な臨床経験の話や貴重な資料、さらには、柔整師ならではの独特の固定包帯法等を披露していただきました。今後はさらに回数を重ね学術部としてはHPへの掲載やCD及び小冊子にまとめ会員及び一般の方々にも見てもらえるようにしたいと考えています。

【保険部から】

今回の料金及び運用方法の改定については、既に別送しております資料を熟読下さいますようお願いいたします。

《今後の主な行事》

- ①平成25年 5月19日 (日) 定時総会 (東部地域振興ふれあいセンター)
- ②平成25年 5月26日 (日) 埼接柔道大会 (深谷ビクタートル)
- ③平成25年 6月30日 (日) 中関東柔道大会 (山梨県)
- ④平成25年 7月27日 (土) 第2回埼接アスレチックトレーナー研修会
- ⑤平成25年10月27日 (日) 保険業務講習会 (市民会館おおみや)
- ⑥平成25年11月10日 (日) 学術研修会

